

20171022 「モーセの誕生」

目標：出エジプトに至った時代変化を知り、その苦境の中で助産婦がとった行動に対する神の評価と、救いのもたらし方を赤子のモーセに学ぶ。

聖書箇所：出エジプト記1章8節～2章10節 時間：10分

暗誦聖句：「彼女はその名をモーセと名づけて言った、『水の中から私が引き出したからです』（出エジプト記2章10節）

道具：ホワイトボード、ペン

対象者：中3×1 中1×1 小6×1 小5×3 小3×1 小2×1 小1×2 幼稚園児×2

留意点：聖書箇所はモーセが登場までを扱うので、状況説明に陥りがちである。神に焦点を当て続けるように努める。

段階	時間	教師から	子供に予想される反応	備考
課題確認	2分	ヨセフの時代から何百年もたちました。それまでの王様から、新しい王様が変わって、イスラエルの人々は、奴隷扱いをさせられるようになってしまいました。 毎日毎日厳しく働かさせられます。		加太確認で、時代の変化を掴ませる。ただ説明に終わらせることのないよう、昭和から平成への変化など理解しやすくするように努める。
課題探究	6分	何と、王は、イスラエル人の出産を助ける人たちに、男の子が生まれたら殺すように命じました。 皆さんだったらいったいどうしますか。 赤ちゃんが生まれるとき、助産婦達は、エジプトの王よりも神様を敬い恐れて、男の子も女の子も助けてあげたのです。 助産婦達は、王に、私達が助けなくても彼女たちは子供をさっさと産んでしまうのですと言いました。 神様は、彼女たちを祝福したと聖書は言います。 さて、神様はここに、救いをもたらそうとされました。 かわいい赤ちゃんが生まれました。泣き声が大きくなって、仕方なく家族は赤ちゃんを防水したかごに入れてナイル川の岸に浮かべたところ、エジプトの王女がそれを拾ったのでした。 この赤ちゃんが、後にイスラエルを奴隷から救い出すモーセでした。 神様は、私達を救う時、しばしばあらかじめ、小さな、本当に小さな赤ちゃんのような種を用意しておられて、気づいたらとても大きくなりましたという救い方をします。 神様の恵みの業は、今はとても小さいです。さて、これがどのように大きくなっていくのでしょうか。 暗誦聖句	<ul style="list-style-type: none"> ・酷い ・男の子だけ、ずるい <ul style="list-style-type: none"> ・嘘だ <ul style="list-style-type: none"> ・モーセだ 	<p>時代が変わると、生活の変化を強いられる事があることに触れたい。 また、男の子を殺すのは民族を絶やすためだと言うことに触れ、パロの意図、イスラエルの窮地の度合いを感じさせたい。 答えは求めなくて良い。</p> <p>当然王が怒り狂ったことも併せ述べる。</p> <p>彼女たちの価値判断の基準が、嘘をつくつかないと言うことより、命を助けるか否かの方に重点を置いていたことを伝えたい。</p> <p>恐らく子どもたちはモーセを口にすると思われる。確かにそうだが、表現を変えて、イエスキリストになぞらえられるように提示していく。</p> <p>聖書（2：1－8）を朗読しても良い。有名な箇所であるので、子どもたちも覚えているだろう。その記憶を確かかにさせていく意味も込めて、敷衍していく。</p> <p>小さな赤ちゃんを強調し、次の段へ繋げる。</p> <p>辛子種のたとえなどを触れてみても良いだろう。</p> <p>190号のテーマ「神の恵みに生かされる」からの反映。余韻を持って次回に繋げたい。</p>
まとめ	2分			